

胃カメラ 注意事項

- ・検査にかかる時間は、**10-15分**程度です。
- ・状況により開始時刻が前後することがあることをご了承ください。

【内服】

1. 降圧薬（血圧を下げる薬）：

- ・**検査の2時間前までに**服用ください。

2. 糖尿病薬：

必ずかかりつけの先生にご相談いただき指示に従ってください。

万一ご確認できない場合は、以下のようにしてください。

- ・《**当日検査前中止**》 内服、速攻型インスリン注射。

（検査後食事あとに内服または速攻型インスリンを、再開ください。）

※ 長時間作用型（24時間作用型）インスリンについては、継続ください。

3. 抗凝固薬（血液をサラサラにする薬）：

- ・検査当日も必ず服用ください。

4. その他の常用薬： 検査当日、朝**6時**までに服用ください。

【食事制限】

検査前日 ：アルコール、野菜はお控えください。

21時以降～検査まで：固形物の摂取はお控えください。

検査1時間前まで ：水、お茶、スポーツ飲料の摂取が可能です。

※検査が午後の場合、検査4時間前まではゼリー、ヨーグルトの摂取が可能です。

【鎮静について】

- ・楽な内視鏡という意味では確かに鎮静によるメリットがあります。
- ・一方で確実にデメリットもあります。

以下にメリットとデメリットを簡単にご説明いたします。

鎮静をご利用されるかどうかは、メリットとデメリットをそれぞれご理解いただき、各自でご判断ください。

詳しくは鎮静剤についての説明書・同意書もご参照いただけます。
ご不明な点がございましたらご相談ください。

▷メリット

- ・検査中の痛みや不快感を軽減できます。

▷デメリット

- ・鎮静剤は、100%安全というわけではありません。
- ・鎮静は、心臓・肺に負担がかかるため重度の心疾患や呼吸器疾患をお持ちの方は注意が必要です。
- ・また、鎮静による転倒のリスクや検査当日の作業能率の低下があげられます。

上部消化管内視鏡（胃カメラ）の苦痛度

- ・「経鼻」内視鏡は、鎮静なしでも検査が可能である場合があります。
※ ただし、「経口用」内視鏡は経鼻よりも精度が勝ります。
- ・「経口用」の内視鏡は管が太く、苦痛が増すこともあるため、鎮静をする方が多くみえます。

【検査当日の諸注意】

- ・体を締め付ける服装を避けてください。
- ・タオルを持参ください。
- ・鎮静をご希望の際は、検査当日の車・自転車等の運転は絶対にご遠慮ください。

【来院方法】

- ・鎮静を希望されない場合は15分前までに、ご希望の場合は30分前までにご来院ください。

- ・当院に駐車場はございません。（近隣に有料の駐車場がございます。）

【検査後】

●鎮静を行わなかった場合、

- ・検査終了後、すぐご帰宅が可能です。
- ・検査後も普段通りの生活が可能です。

※ 組織を採取した場合は、下段を参照ください

●鎮静を行った場合、

- ・30～60分ほど休憩していただき、ご帰宅となります。
- ・当日は検査後もお車・自転車等の運転は絶対に行わないでください。
- ・また、検査後も鎮静の影響が残る場合があります。
- ・用事や仕事などを入れず安静にお過ごしください。

●組織を採取しなかった場合は、普段通りにお過ごしください。

●組織を採取（生検）した場合は、胃痛を呈する場合がございますが、数日で軽快します。

また、3日ほどは刺激物やアルコールの摂取は避けてください。

※ 気分が悪いなどご心配な場合は、ご相談ください。

【再診の予約】

- ・生検を行った場合、もしくは、ポリープを切除した場合は、組織検査の結果が出るまでに8日ほど（連休期間分後ろ倒しになります）かかります。
- ・再診の予約を受付でお取りいたします。

※ ご都合が悪い方は、後日ご自身で変更頂くことができます。